

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	事故報告書に比べてヒヤリハットの報告が少ない。 ヒヤリハットに該当する案件の中で、申し送ノートでの情報を共有や口頭で伝えて終えているものがある。	ヒヤリハットを書くことの目的は再発防止であり、そのために必要な情報共有であることの理解をする。	リスクマネジメントの研修でヒヤリハットの必要性を伝えていく。 ヒヤリハット、事故報告書を数値化し、より分かりやすくまとめ、事故を未然に防ぐよう努める。	12ヶ月
2	18	入居者様がご自身で出来ることも職員が行ってしまうことがある。	過剰介護にならない様にケアプランに沿った自立支援に向けた介護を行う。	入居者様それぞれの「出来ること」を職員は把握し、出来ることを活かし「待つ」ケアを行い自立支援に向けて支援する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。